

第64回岐阜県消防操法大会

～揖斐川町消防団～

8月2日(日)、海津市、海津グラウンドで「消防感謝祭」第64回岐阜県消防操法大会が開催され、揖斐郡の代表として揖斐川町消防団(揖斐分団)が出場し、優秀賞を獲得しました。

大会には県内の消防団から各地区の大会などで選ばれた30隊180人が出場。今年は6人1組の「ポンプ車操法」で、的を倒すまでの時間や操作、規律の正確さを競いました。

応援に駆け付けた消防団員や家族らの声援を受けて、どの隊も訓練の成果を発揮し、レベルの高い操法を展開しました。

この大会で優勝した恵那市消防団は、平成28年に長野県で開催される全国大会へ出場します。

大会の結果は次のとおりです。

優勝	恵那市消防団
準優勝	神戸町消防団
優秀賞	揖斐川町消防団
	中津川市消防団
	可児市消防団
	多治見市消防団
	瑞浪市消防団
	八百津町消防団
優良賞	海津市消防団A
	美濃加茂市消防団



▲揖斐川町消防団(揖斐分団)



▲操法(放水)の様子

第38回岐阜県交通安全少年団自転車安全大会

7月28日(火)、ヒマラヤアリーナで第38回岐阜県交通安全少年団自転車安全大会が開催されました。児童の交通事故を防ぐと毎年開催されています。

県内小学校の17チーム68人が参加し、揖斐川町からは小島小学校の児童が参加しました。1チーム4人の団体戦と個人戦があり、交通ルールや道路標識に関する学科テストと、でこぼこ道やS字、8の字などを走り、運転技術を確かめる実技テストで合計得点を競いました。

団体戦は3位まで、個人戦は10位までが表彰され、小島小学校は団体戦で準優勝、個人戦では、駒月しえりさんが5位、坪井美優さんが7位に入賞しました。おめでとうございます。



▲小島小学校交通安全少年団の皆さん

揖斐川右岸地区農業集落排水処理施設竣工式

7月21日(火)、揖斐川右岸地区農業集落排水処理施設の竣工式が行われました。

揖斐川町では、近年、生活様式の変化・近代化により、農山村における生活環境の悪化が進みつつあります。

このような状況の中で、水環境の整備をするために、揖斐川町農業集落排水事業を行っています。

8月1日に供用を開始する揖斐川右岸地区の施設が稼働すると、小島地区の大半と揖斐、胨永地区のそれぞれ一部に住む1900人に対応することができそうです。

式典の中で宗宮町長は「用排水路をはじめ、公共用水域の保全が図られるなど、生活環境は大きく改善されると考えている。適切な維持管理を行いたい」と話しました。



▲完成を祝うテープカット



▲夜叉ヶ池物語 龍神と夜叉姫

7月25日(土)、遊らんど坂内特設会場にて、夜叉ヶ池伝説道中まつりが開催されました。

このまつりは、約1300年前から伝わる夜叉ヶ池伝説を再現する創作音楽劇をメインイベントとして、ステージでは、滋賀県長浜市のアイドルユニット「キャンセ浜姫」のシヨールや「鼓國雷響JAPAN」の太鼓演奏などが行われ、家族連れなど、約3000人が訪れました。

夜叉ヶ池伝説は、美濃の国神戸(現在の神戸町)の郡司が、恵みの雨の返礼に娘を夜叉ヶ池にすむ龍神に嫁がせたという物語です。地元の人たちが出演する音楽創作劇「夜叉ヶ池物語」のクライマックスシーンでは全長21メートルの龍神が現れ、夏の夜に幻想的な伝説が蘇りました。

夜叉ヶ池伝説道中まつり



▲給水所でおもてなし

7月25日(土)と26日(日)の2日間をかけて、夜叉姫ゆかりの神戸町から坂内の夜叉ヶ池までを往復する「夜叉ヶ池マラニック」が開催されました。

コース延長が135kmという過酷を極めたこの大会には、今年も全国各地から360人が参加しました。

初日の25日は、神戸町役場をスタートして揖斐川沿線进行、坂内の道中まつりの会場を目指しました。

2日目は、早朝に坂内交流センターを出発して夜叉ヶ池までの山道を駆け登り、折り返して神戸町役場を目指しました。

沿道では住民の方々がボランティアとして出場者を迎え、給水所でバナナや水ようかん、梅ジュースなどをふるまい、大会を支えました。

夜叉ヶ池マラニック



▲屋台の灯りに照らされる来場者

8月8日(土)、揖斐川河川敷、揖斐川町役場周辺にて、いびがわの祭り、ありがとう花火が開催されました。

揖斐川の水の恵みに感謝するこの花火大会では、願いを込めたメッセージシールを花火玉に貼って打ち上げます。

今年は約6500発の打上げ花火と、「全国育樹祭」の文字が現れる仕掛け花火があり、訪れた多くの人を魅了していました。

また、通りには浴衣姿の来場者があふれ、屋台の灯りに照らされるようすは、夏の夜の風情をかもしていました。

いびがわの祭り

～6500発の花火が夜空を彩る～



▲夜空を彩る打上げ花火



▲全国育樹祭の仕掛け花火

第16回久瀬花き品評会

7月30日(木) 久瀬公民館で、「第16回久瀬花き品評会」が開催されました。

品評会には久瀬地域で生産された小菊51点、しきみ30点が出品され、色や形、つや、商品性などが審査されました。

最優秀の岐阜県知事賞は、小菊を出品された、長屋たつよさんが受賞されました。

そのほかの入賞者は次のとおりです。

■切花の部(小菊)

金賞(町長賞) 長屋 建志さん

銀賞(岐阜生花市場協同組合理事長賞) 河合 三郎さん

銅賞(いび川農業協同組合長賞) 長屋 たつよさん

奨励賞 長屋 薫さん

■枝物の部(しきみ)

金賞(議長賞) 高橋 努さん

銀賞(揖斐農林事務所長賞) 五十川 さだゑさん

銅賞(久瀬花き生産組合長賞) 高橋 静好さん

奨励賞 鳥井 平二さん



県知事賞に選ばれた小菊

養老鉄道存続を訴えました

訴えました

7月19日(日)、養老鉄道存続の機運を盛り上げようと、養老鉄道乗車体験会が行われ、県や沿線市町の議員、首長、職員ら約250人が養老鉄道大垣駅から揖斐駅方面と駒野駅(海津市)方面に分かれて乗車しました。揖斐川町からは、町長、議会養老鉄道存続特別委員会の皆さん、職員ら約30人が乗車し、沿線を視察しました。

沿線各駅では、養老鉄道の存続を求めて活動する住民団体などが横断幕やのぼりを掲げ、揖斐駅では町公共交通を守る会のメンバーや地域住民らが「乗ってつなごう未来まで」と書かれた横断幕を掲げて電車を迎え、町からの視察参加者と合わせて約70人が存続を訴えました。

町長は町からの参加者に対し、「揖斐川町の活性化には養老鉄道の存続が不可欠です。皆さんのお力を借り、存続に向けた活動を進めていきたい」と話しました。



▲参加者による呼びかけ(揖斐駅)

関西茶品評会 揖斐川町から農林水産大臣賞・産地賞受賞

8月5日(水)から7日(金)まで、揖斐川町健康広場で開催された第68回関西茶品評会において、「普通煎茶の部」で太田恒雄さん(桂茶生産組合)が最高賞に当たる「農林水産大臣賞」を受賞されました。また、出品茶上位3点の合計得点を市町村で競う「産地賞」についても、「普通煎茶の部」で揖斐川町が最高得点を獲得し、受賞となりました。「普通煎茶の部」で上位入賞された方は以下のとおりです。

農林水産大臣賞

1等1席 太田 恒雄さん

農林水産省生産局長賞

1等2席 太田 英一さん

1等3席 太田 清和さん

全国茶生産団体連合会長賞

1等10席 花本 毅さん

全国茶商工業協同組合連合会理事長賞

1等11席 太田 哲郎さん



▲品評会のように

大谷川の草刈 上野寿会

こといさき

梅雨明けとなった7月20日(月)、老人クラブ上野寿会が大谷川の草刈りを行いました。上野地区を流れる大谷川は上野に住む人々の生活になくてはならない大切な川です。しかし、夏になると雑草が生い茂り、景観が悪くなりだけでなく、大雨の時には氾濫の原因になります。このため、上野寿会ではこの時期になると毎年草刈りを行っています。

近年は上流でも沢山の雑草が生え草刈りも一苦労ですが、作業を終えた皆さんの表情は「まだまだがんばるよ」と言わんばかりです。今年も大谷川が荒れないことを願っています。



▲上野寿会の皆さんと草刈のようす